

# フォーサム2017大阪 ランチョンセミナー18

日時▶2017年7月16日(日) 12:00~13:00 会場▶第7会場(大阪国際会議場 12F 特別会議場)

## 教えて! Doctor X 涙道治療

### 症例持ち寄りカンファレンス

#### 座長のことば

涙道分野は涙道内視鏡が発売された2001年から、CTやMRIなどでは今まで見えなかった涙道内腔が可視化されたことで、手術を含めた治療法が急激に発展・進化しています。

可視化された事により、盲目的手技の結果や術後の経過不良の理由も画像で確認出来ます。

涙管チューブ挿入術も内視鏡とシースを組合せる事で正確に涙管チューブを挿入できる様になりました。

またいろいろな手技も開発され術者も患者・症例に合わせた手技・チューブ選択での対応も可能となってきました。しかし涙道は形態や閉塞に個人差が大きく、この手技・方法であれば万能という事は無いと考えます。手技の中でコツが必要なポイント・難しいポイント・独自にアレンジされているポイント等と逆に困った事・気になる点も含め演者の方々に実際の症例を提示して頂き、初めての試みで「カンファレンス形式」での進行を考えています。各症例で「術者はその時どうしたのか?どうなったのか?これで良かったのか?どうしたら良かったのか?」アドバイス等ご自身のご経験も含め会場に来られている多くのドクターXの方々からのご意見・ご提案も頂ければと考えております。「ちょっとオリジナル過ぎて学会で発表出来ないけど、こうやれば案外上手くいくよ」など、多数ご意見お待ちしております。

今回、今後の涙道治療の発展に多いに期待できる若い3名の先生方にご講演頂き、前述の通りその症例・手技・方法・コツについて会場の熟練の先生方を始め多いに討論して頂き、このセミナーが今後の治療に少しでもお役に立てればと思っています。またこれから涙道治療を開始しようとお考えの先生方にもご参考になれば幸いです。

座長

Masako Oe

大江 雅子先生

多根記念眼科病院 眼科部長

教えて!プチ難症例に  
応じる手技のコツ

演者

Seiki Katakura

方倉 聖基先生

井上眼科病院 医局長

教えて!鼻涙管閉塞

演者

Masashi Sakamoto

坂本 理之先生

東邦大学医療センター  
佐倉病院眼科 助教

教えて!涙小管閉塞の  
失敗しないあけかた

演者

Tomoyuki Kamao

鎌尾 知行先生

愛媛大学医学部眼科学教室 助教